

第 63 回入学式 式辞

本日ここに、保護者会、後援会、同窓会の各会長様をはじめとするご来賓の方々、並びに保護者の皆様をお迎えし、前橋育英高等学校の第63回入学式を挙行できますことを、本校の教職員を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました450名の皆さん、入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様におかれましては、お子様が健やかに成長し高校生になった喜びは、ひとしおのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

本校は、1963年に開校し、今年63年目を迎えますが、この間一貫して「正直・純潔・無私・愛」の道義標準に基づく道徳理念を培うことや、国際的視野に立って、世界平和と社会の福祉に貢献できる人材の育成などを建学の精神として、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出すことを目指しています。この成果は着々と積み重ねられ、現在、本校には先の選手権大会で優勝した男子サッカー部をはじめとした全国レベルで活躍する部活動があるなど、スポーツ強豪校として、また、進路面においても各コースに応じた実績を上げている学校として広く知られる存在になりました。卒業生は2万7千人を超え、県内はもとより、全国、そして世界各地の様々な分野で活躍しているところであり、今後も、建学の精神に基づいた国際理解教育の充実など、多様なニーズに応えられる特色ある教育を推進していく所存です。

さて、新入生の皆さんは、本日本校で、新しいスタートを切ります。これからの3年間は皆さんの人生の土台を創る貴重な3年間となります。この高校生活を実りあるものにするためには、「夢を持つこと」「友情を育むこと」そして「楽しむこと」がとても大切だと思っています。

夢は、ほとんどの人が叶えられずに終わると聞くことがありますが、それは、途中でほとんどの人が諦めてしまうからだと思っています。夢が叶うまで追いつけられる人が一握りなのです。夢は諦めない限り実現の可能性があります。皆さんには、本校で夢の実現のために一步一步前に進んでほしいと思います。

そして、その夢を追いつけるためになくてはならないのが友です。中学校までと違い、本校には県

内全域、さらには全国から生徒が集まってきています。ぜひ信頼できる友を作り、一緒に壁を乗り越え、相互に高め合う存在になってほしいと思います。

そして、大変なときこそ楽しむこと。課題を克服したとき、目標を達成したとき、夢を叶えたとき、どれも喜びに満ちるのは、ほんの一瞬に過ぎません。全国制覇を成し遂げても、その翌日には次への挑戦が始まるのです。つまり、喜びに浸っている時間より、地道に努力しなければならない時間の方が圧倒的に長いのです。ですから、高校生活を、ひいては人生を楽しむためには努力することを楽しむという発想の転換が必要です。高校時代の一瞬一瞬は、二度と戻りません。すべての経験が今後の人生のための貴重な経験です。悔いのないように楽しみながら日々を過ごしてください。

最後に、新入生の皆さんがこの日を迎えることができたのは、皆さん自身の努力はもちろん、ご家族や地域の方々、小中学校の先生方などさまざまな人達に支えられたからこそだと思います。その方達への感謝の気持ちを忘れず、自分を大切に、責任と思いやりのある高校生になってください。そして、将来は、誰かのために何かができる人間、仲間と共に世の中を創って行くことができる人間になってほしいと願っています。我々教職員は全力で皆さんを応援します。

結びになりますが、ご来賓並びに保護者の皆様に、本校の教育活動に対する特段のご支援・ご協力をお願い申し上げ、式辞といたします。

令和7年4月7日

学校法人群馬育英学園

前橋育英高等学校

校長 二渡 諭司